下は黙って上に従うと言う風潮が強い日本では、多くの人の声は押し潰され、声が届かないと知れば、思考停止状態になってしまう事があるかと思います。

投資界のスティーブ　ジョブスと言われるレイ・ダリオ氏が創業したブリッジウオーター社では年功序列制度ではなく、能力主義制度のメリトクラシーを取り入れています。

何か物事を決めるような場面があれば、ダリオ氏は全従業員に意見を求めるアンケートを実施し、確固たる意見を持っている社員だけを集めて議論させ、一番良い主張をした人の意見を採用するそうです。

ダリオ氏は物事を決める際に最も良くないのが多数主義の投票とおっしゃっています。何故なら、全員の一票が同じでは無いからです。

確固たる意見を持っている人の一票と意見の無い人の一票は全く違うわけで、意見を持たない人はそもそも議論に参加する権利は無く、議論を聞いて、学んで自分の意見が持ててから、初めて議論に関わる権限を与えられるべきと言う考えです。

日本の年功序列制度、議論を避け、上の人間が全てを決めると言う事は組織運営に置ける一つの正解である事は間違いないでしょう。

しかし、もし現状、あなたの組織が停滞しているのであれば、実験的にメリトクラシーを試してみても良いかもしれません。

http://www.businessinsider.com/ray-dalio-management-strategy-bridgewater-2016-1